

ドラマ×マンガ
「お父さんと私の“シベリア抑留”
— 『凍りの掌』が描く戦争—

出演者と放送日時決定のお知らせ

<放送日時>

BSプレミアム 8月10日（土）夜9時～9時59分

<主な出演者>



おざわゆき：木村多江 父・昌一：古谷一行 夫・博光：小手伸也

マンガパート
昌一の声：小野賢章

<企画内容>

これは、1人の女性マンガ家が、父親が戦後に体験した「シベリア抑留」について作品にしようと決意し、悪戦苦闘しながらも完成させていく日々を描いた番組です。

主人公のモデルとなるのは、日本漫画家協会賞コミック部門大賞や文化庁メディア芸術祭漫画部門新人賞を受賞した「凍りの掌（こおりのて）」の著者・おざわゆきさん。その「凍りの掌」を番組の随所に織り交ぜながら進行させていく、新感覚のドラマです。

戦争とは縁遠い世代の視聴者に、戦争について少しでも身近に考えていただける場を提供したいと企画しました。

出演は、主演のおざわゆき役に木村多江さん、父・昌一役に古谷一行さんが決定いたしました。さらに夫・博光役はテレビ・映画に引っ張りだこの個性派俳優・小手伸也さん、そしてマンガパート昌一の声は、人気声優の小野賢章さんが務めます。

<あらすじ>

漫画家のおざわゆきは、高校1年でプロデビューを果たしたものの、その後連載も途絶え、40歳を過ぎて、崖っぷちに立たされていた。2006年、あることをきっかけに、父・昌一（まさかず）の「シベリア抑留」体験をマンガにしようと考え、父に協力を依頼する。ところが父から聞かされる話は、「寒さ・重労働・飢え」など、想像をはるかに超える過酷さで、ゆきは、心身ともに打ちのめされる日々を送ることになった。それでも何とかマンガにして後世に伝え残そうと、夫・博光の励ましを得ながら、2年以上をかけて懸命に描いていく。すると…。

<主演・木村多江さんコメント>

おざわゆきさんがお父様への取材を通じてシベリア抑留を体験していったように、私も演じながら怖くなったり、心が凍るような気持ちになったりして、シベリア抑留を体感していきながら思っています。そして、番組をさせていただく皆さんに、その温度をお届けできたらと考えています。おやつが食べられるとか寒い中で暖がとれるとか、何気ない日常の中に実は小さな幸せがいっぱい詰まっていること、そうした平和というものを改めて実感できる番組にできたらいいなとも思っています。